

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 787 事業名 チャイルドシート貸出事業（子育て支援対策臨時特例基金活用事業）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童福祉総務費	
	大事業		児童福祉総務事業	
事項		次世代育成支援行動計画推進事業		

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
○	○		

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
取組	1	家庭における子育て支援

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H23	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	次世代育成支援行動計画		
担当課・担当課長 (Tel)	子育て支援課	宮崎 久	435-1329
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民の子育て世帯の支援と乳幼児の安全を目的として、チャイルドシートを貸出する。	市内在住で自動車運転免許証を所持し6歳児未満の幼児を養育している方に最長6カ月間、和歌山市社会福祉協議会及びNPO法人などの5箇所において、チャイルドシート・ジュニアシートの貸出を行う。NPO法人等に連絡し、在庫を確認の上、申請書、免許証の写し、車検証の写し等を提出してもらい貸し出している。費用は、クリーニング代として貸出時に2,500円が必要。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
				チャイルドシート・ジュニアシートの貸出	チャイルドシート・ジュニアシートの貸出	チャイルドシート・ジュニアシートの貸出

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費					2,492	1,636	630	567	630	
伸び率 (%)	-	-	-	-	-	-	-74.7%		0.0%	
人件費	常勤職員				1,395	1,396	1,395	3,642	3,642	
	非常勤職員				545	545	545			
	小計				1,940	1,941	1,940	3,642	3,642	
国庫支出金					0	0	0		0	
県支出金					2,492	1,636	0		0	
市債					0		0		0	
その他					0		0		0	
一般財源(税等)					0		630	567	630	
所要人数	常勤職員				0.18	0.18	0.18	0.49	0.49	
	非常勤職員				0.22	0.22	0.22	0		
主な予算内訳	委託料 630千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	申請件数				年度目標値			40	60	60
					実績値			43	41	
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度			107.0%	68.3%	
						年度目標値				
成果指標	貸出件数				年度目標値			40	60	60
					実績値			43	41	
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度			107.0%	68.3%	
						年度目標値				
					実績値					
					年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	貸出件数において、ほぼ横ばい状態であるが、利用件数も多いため現状どおり行いたい。
<p>「見直し」 「改善」案</p> <p>※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載</p>	